

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	杉山健一
	全体計画						経費区分		-		内線	3312
事務事業名	4078 福祉金支給費											
所 属	100100 健康福祉部・福祉課											
施 策	12020900 子育て環境の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費										
	事業	060000 福祉金支給費										
事業目的						事業概要・効果						
交通災害遺児、重度心身障害児等に各種福祉金を支給し、福祉の向上を図る。						交通災害遺児、重度心身障害児等に各種福祉金を支給し、福祉の向上を図る。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
延1,773人	延1,800人
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
延1,800人	延1,800人
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
延1,800人	延1,800人

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		3,546	3,660
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,546	3,660
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	696.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	696.8
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,546.0	4,356.8

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,546	重度心身障害者福祉金など

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,660	重度心身障害児福祉金など

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	特別児童扶養手当受給者への上乗せ分として給付する	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	事業目的が理解されていない	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	市単独事業	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市単独事業として特別児童扶養手当受給者へ支給しているが、額も僅少であり反応は薄い。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
適正な支給の実施。制度の趣旨の周知。		制度の周知を図る	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	